

おもてなしの英会話 (8.24)

食事制限の話し

Hello, Everybody?

高山市役所の田中です。
おもてなしの英会話の時間です。

高山には、年間を通して多くの外国人の皆様に来ていただいています。そうした海外からのお客様に、おもてなしの気持ちを伝えるための英語表現をご紹介します。

ここ数日、食事制限についての表現をご紹介しましたが、主義、健康上の理由、宗教などによって、ある一定の食べ物を「摂取することができない」、あるいは「しない」外国人の方がおられます。

今日は、英会話というより、そうしたお話しをします。

アレルギー以外で食事制限として先ず頭に浮かぶのが、ベジタリアンであると思います。ベジタリアンもいろいろあり、肉、魚、卵や乳製品も食べない純粋菜食主義者は「V e g a n (ヴィーガン)」、その他、卵と乳製品はOKの「O v o - L a c t o (オーヴォ・ラクト) ベジタリアン」、乳製品はOKの「L a c t o (ラクト) ベジタリアン」の方もおられます。

また、宗教で言うと、厳格なユダヤ教の方は「K o s h e r (コーシャー)」なものしか食べられません。例をあげると、ひづめが割れていて、「反すう」する草食動物の肉のみOKで、豚肉はNGです。

イスラム教徒の方は「H a l a l (ハラル)」なものである必要があり、豚肉やアルコールは摂られませんし、ヒンドゥ教は牛肉がNGです。

それぞれの事情に対して、理解を深めたいものですね。

それでは次回まで、See you next time!!